

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場会社名 株式会社トクヤマ 上場取引所 東証、大証第1部  
 コード番号 4043 URL <http://www.tokuyama.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中原 茂明  
 問合せ先責任者 (役職名)広報・IRグループリーダー (氏名)松本 良文 TEL (03)3499-8023  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	160,145	—	14,643	—	14,478	—	8,860	—
20年3月期第2四半期	150,225	6.0	18,173	20.2	16,631	22.0	9,821	21.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	32	31	—	—
20年3月期第2四半期	35	79	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年3月期第2四半期	401,035		213,113		51.4		752	55
20年3月期	383,264		206,135		51.9		725	37

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 206,259百万円 20年3月期 199,010百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	—	3	00	6	00
21年3月期	—	—	3	00	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	3	00
					6	00

20年3月期期末配当については、1株当たり6円の配当金のうち、記念配当3円を含んでおります。

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	331,000	7.7	30,000	△15.1	28,500	△6.2	17,500	△7.4	63	85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 有  
〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |              |             |  |              |
|----------------------|--------------|-------------|--|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  |              |             |  |              |
| 21年3月期第2四半期          | 275,671,876株 | 20年3月期      |  | 275,671,876株 |
| ② 期末自己株式数            |              |             |  |              |
| 21年3月期第2四半期          | 1,591,174株   | 20年3月期      |  | 1,314,323株   |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) |              |             |  |              |
| 21年3月期第2四半期          | 274,267,552株 | 20年3月期第2四半期 |  | 274,389,657株 |

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。
- (2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は前年同期実績を上回ったものの、営業利益は前年同期実績を下回りました。

<化学品>

販売価格は正、コスト引下げに取り組んでおりますが、原燃料価格高騰の影響を大きく受け、当セグメントの業績は振るいませんでした。

以上の結果、当セグメントの売上高は623億2千万円(対前年同期比9.0%増)、営業利益は13億9千万円(対前年同期比48.8%減)で増収減益となり、売上高全体に占める割合は38.9%となりました。

<特殊品>

多結晶シリコンは引続き好調でした。一方、機能性粉体、電子工業用高純度薬品などは、総じて原燃料価格高騰の影響で業績は低迷しました。

(株)エイアンドティーは臨床検査機器システム等の販売が低調で、業績は低迷しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は544億円(対前年同期比8.5%増)、営業利益は154億6千万円(対前年同期比0.6%減)で増収減益となり、売上高全体に占める割合は34.0%となりました。

<セメント建材その他>

(セメント事業)

石炭をはじめとする原燃料価格の大幅な価格上昇を受けて、価格是正を実現しました。しかしながら、公共需要の漸減傾向に加えて、建設資材価格の上昇による民間需要の落ち込みが重なったことにより需要環境は悪化しました。さらに法人税法改正を契機とした経済的耐用年数見直しによる減価償却費の増加も利益圧迫要因になり、業績は低迷しました。

資源環境事業はコスト引き下げに注力する等により、利益を確保しました。

(建材その他事業)

プラスチックサッシ事業のシャノングループは、需要減や原料価格の高騰に対して価格是正やコスト引下げに努めておりますが、業績は低迷しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は434億1千万円(対前年同期比1.2%増)、営業損失は1億3千万円(対前年同期比107.9%減)で増収減益となり、売上高全体に占める割合は27.1%となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,010億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ177億7千万円増加しました。主な要因は、有形固定資産141億9千万円の増加等です。

負債は1,879億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ107億9千万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金44億2千万円の増加等です。

純資産は2,131億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ69億7千万円増加しました。主な要因は、利益剰余金72億1千万円の増加等です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界的な景気後退や原燃料価格の変動を考慮に入れ見直しを行いました。結果として、通期の業績予想につきましては現時点で変更していません。

















